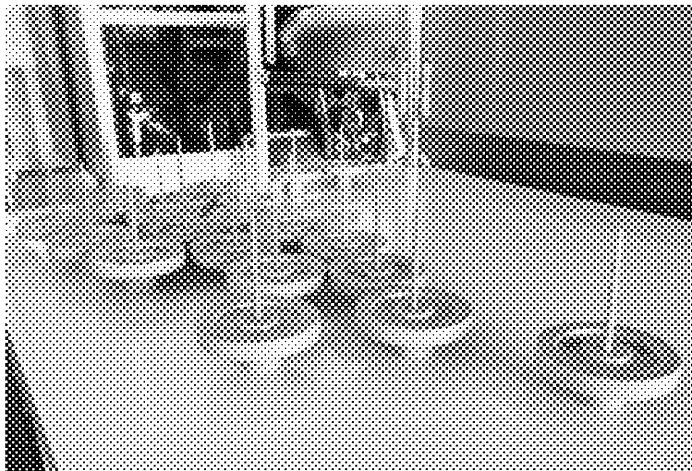


エンプラ部品一貫生産



射出成形したPEEK樹脂のギア

飯田製作所

【福島】飯田製作所（横浜市泉区、野渡透一社長）は、各種プラスチックの精密部品で成型から切削加工までの一貫生産体制を構築する。福島工場（福島県本宮市）でプラスチックの射出成形を開始するとともに、福島第2工場（同）では従来のフッ素樹脂の切削加工に加えて圧縮成形も開始する計画。半導体関連向け精密部品の需要増に対応する。

福島2工場に成形機 半導体向け

飯田製作所は本宮市に2工場を構える。このうち、福島第2工場では主力のポリテトラフルオロエチレン（PTFE）加工によって自動車・建機部品などを生産している。一方の福島工場は休止していたが、本宮市に工場を持つ医療機器の部品メーカーから各種生産機械を譲り受け、4月に射出成形を始めた。福島工場には射出成形機2台と金型加工の放電加工機、マシンニングセンターなど工作機械20台、国産の大型射出成形機1台、搬送ロボットなどを導入。従

飯田製作所は本宮市に2工場を構える。このうち、福島第2工場では主力のポリテトラフルオロエチレン（PTFE）加工によって自動車・建機部品などを生産している。一方の福島工場は休止していたが、本宮市に工場を持つ医療機器の部品メーカーから各種生産機械を譲り受け、4月に射出成形を始めた。福島工場には射出成形機2台と金型加工の放電加工機、マシンニングセンターなど工作機械20台、国産の大型射出成形機1台、搬送ロボットなどを導入。従

業員も引き取った。ポリエーテルエーテルケトン（PEEK）、ポリエーテルケトン（PEEK）といった耐熱性の高いスーパーエンジニアリングプラスチックでも成形できる。福島第2工場では従来のPTFE加工に加え、成形事業も開始する。このため2台の圧縮成形機を導入し、4月から実証を始めた。両工場への生産機械導入により、プラスチックの成形から加工までの一貫生産体制を構築。増加する精密部品の需要を取り込んでいく。